スケバン刑事II
YOKO MINAMINO

南野陽子

スケバン刑事(デカ)II写真集

MÉMOIRE

撮影／大松 龍



白泉社EX



スペシャル・インタビュー（本文より）

■歌手と女優と、自分では、どちらが向いていると思いますか？

——どちらも向いていないと思うけど、女優になりたい！ BUT 今は歌手してるときが好き。



南野陽子


スケバン刑事Ⅱ
YOKO
MINAMINO


スケバン刑事Ⅱ
YOKO
MINAMINO

南野陽子

MÉMOIRE

スケバン刑事(デカ)Ⅱ写真集

撮影/大松 龍



CONTENTS

スケバン刑事II
YOKO MINAMINO





●原作
和田慎二
花とゆめコミックス刊

●協力
フジテレビ
東映
青年座

●スタッフ
カメラ・大松 龍
AD・大向 務
イラスト・中西 裕
構成・梶本 学







SCENE 1

スケバン刑事II
YOKO
MINAMINO

陽子、ドキドキ。

ある日突然、キミがいた。
——出会いは、センセーション。



闘う陽子、二代目スケバン刑事の誕生だ!!













陽子が見つめる。





陽子が笑う。

これは、ひとつの事件だ！

















淋しくても前を向いて笑って。ほら、ね！







SCENE 2

スケバン刑事II
YOKO MINAMINO

陽子、ワクワク。

いつか陽子と、ロマンチック
——不思議な予感に、胸さわぎ。







やったネ!



サキの秘技・月面宙返り!?







熱演！なめたらあかんきに!!

















サキ、秘密の力を見せるのは、いまだ！



くやしくて泣いた
かなしくて胸が痛む
こんな陽子を
見てほしい——

















麻宮サキ&南野陽子のすべて——

メイキング オブ スケバン刑事



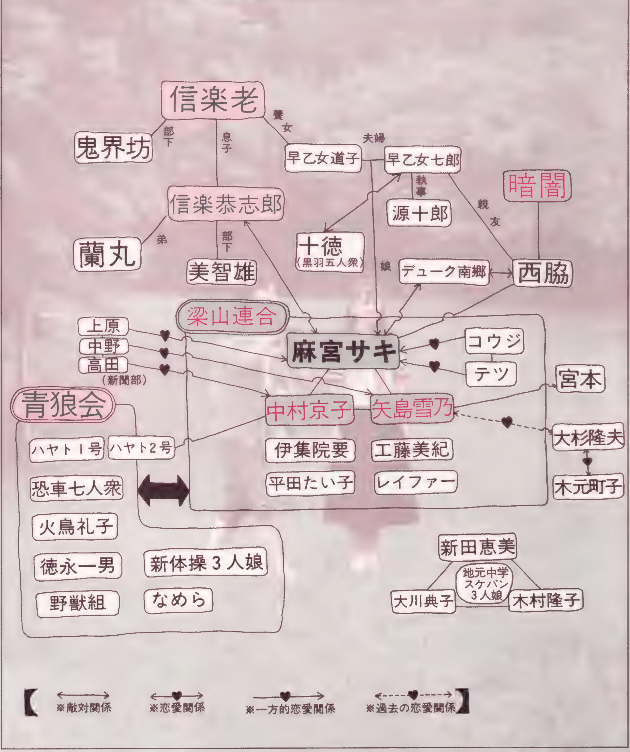
構成・梶本 学
松本かづみ
イラスト・中西 裕
協力・フジTV広報部

スケバン刑事PartII YOKO MINAMINO

サキをめぐる人達 Who's Who

スケバン刑事II 鉄仮面伝説 登場人物紹介

主な人脈図





★麻宮サキ（五代陽子、早乙女志織）

その出生は謎につつまれ、父親を巨大な権力により抹殺され、また幼少の頃から鉄仮面を被ることを余儀なくされたという数奇な運命に、国家権力に身を売り二代目スケバン刑事となって、敢然とたちむかう正義の美少女。そのあまりにもドラマチックな人生の展開に、時にはくずれ落ちてしまいそうにもなるが、お京や雪乃といったよき友達でもあり、また同志の助けも得て、目的を果たす。

★中村京子

通称〝ビー玉のお京〟の名のとおり、色あざやかなビー玉を駆使し、サキと共に青狼会へ立ち向かう。サキが梁山高校へ転校してきた当初は、スケバンの意地からかサキを敵視するが、一戦を交えた後は相通ずるものを感じ、以後マブダチとなる。また幼い頃に両親に捨てられて育ったせいか、世の中に対し常に斜に構えたところもあるが、ホントは心の優しい少女でもある。

★矢島雪乃

大金持ちの一人娘、学校への送り迎えは高級外車でという典型的な箱入り娘として育てられた為、性格はかなりおっとりしている。武術をたしなんでいるものの学園の荒廃に関しては無関心を装っていたが、サキの悪と闘う姿勢に共感し、以後サキを慕って梁山高校に転校している。学校の成績も良く、また家庭環境にも恵まれているところは3人の中でも異色派。得意技は琴の爪と袱紗。

★信楽恭志郎
いわずとしれた悪の組織「青狼会」総統。あらゆる冷酷な手段を用いて、学生組織による日本制覇という野望を持っている。サキとは同じペンダントを持つ意外なつながりが…。

★信楽老（鎌倉の老人）
日本の政治、経済を陰で動かしている謎につつまれた人物で、恭志郎の義父にあたる。鉄仮面の秘密を手に入れる為、サキの命を狙う。サキが倒すべき本当の相手。

★西脇
表向きは梁山高校のダメ教師、実は暗闇組織に切れ者エージェントという、2つの顔を持つ男。四国のスケバン鉄仮面こと五代陽子を二代目スケバン刑事にしたのも彼である。

★暗闇指令
西脇の上司にあたる人物で、組織の指令を発する。が、その指令はあまりにも強引で、時には「青狼会」以上だとか…。また唯一のパートI、IIを通じての出演者でもある。

★上原、中野、高田
サキたちの同級生で、梁山高校新聞部員。それぞれ密かに、サキ、雪乃、京子に好意をよせているらしい。

★コウジ、テツ
サキにマジにホレこんでしまったツッパリ二人組。かなりの硬派で、その純情ぶりがおかしい。後に梁山連合に参加。

★レイファー
横浜に勢力を持つスケバン・グループのリーダー。とある理由で青狼会に命を狙われてしまう。後に梁山連合に参加。





★平田たい子
千葉の海岸沿いの町に勢力を持つスケバン・グループのリーダー。とある理由で青狼会に命を狙われてしまう。後に梁山連合に参加。

★伊集院要
全国女生徒会長の中の実力者。その地位から青狼会に利用されそうになるが、サキの純粋さにうたれ真実に気付く。梁山連合に参加。

★工藤美紀
近畿生徒会の実力者で、ナギナタの名手。青狼会のワナにはまりかけるが、お京と雪乃の誠に目覚め、サキの味方に。梁山連合に参加。

★新田真美、大川典子、木村隆子
地元でならした中学生スケバン・グループ三人組。イキがってサキに挑戦するが、あっけなく破れてしまう。

★デューク南郷
サキの父である早乙女士郎の命を狙い、また過去に西脇と凄絶な死斗を演じたこともある凄腕の殺し屋。

★火鳥礼子
青狼会の下部組織であるカンフー・クラブ紅龍会のリーダー。スケバン刑事となったサキが初めて倒した敵でも

ある。

★野獣組

青狼会の闇の力により少年院から解放された、犬童武、虎熊大二郎、鬼丸洋介の凶悪な3人組。学園を恐怖におとしいれた。

★ハヤト1号

青狼会が作りあげた元高校レスリング・チャンピオンという経歴を持つ、戦斗のエキスパート。ターミネーターを彷彿させる。

★ハヤト2号（タケシ）

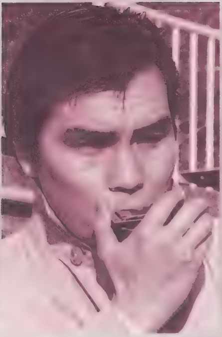
お京の幼なじみで初恋の相手でもあるが、青狼会に利用され刺客となる。武器はシャープペンに仕込んだ鋭利な針を使う。

★恐車七人衆

井上貴子をリーダーとする7人の刺客集団。サキの周囲の人間を次々と倒していき身動きをとれなくする恐車の術を使う。

★黒羽五人衆

かつて早乙女七郎に父を倒された上徳という男をリーダーとする5人の僧侶達。秘孔を突くことを最大の武器とする恐ろしい相手。



★徳永一男

サキの戦士としての良心を利用し、逆にそのことで心理的にサキを追いつめた知能犯。自分の戦術に溺れてしまったことが命とりに。

★新体操三人娘

新体操の長いリボンを凶器としてあやつる蘭子、椿、螢の3人組。徳永と組んでサキを苦しめた青狼会の刺客集団。

★なめら

青狼会が放った猫目一族の刺客。この一族の者にかまれると、その意志は奪われてしまい、まるで操り人形のようにされてしまう。

★鬼界坊

法泉寺の住職で、信楽老直属の部下。命令により鉄仮面を奪おうと試みるが、恭志郎の弟である蘭丸に殺され失敗に終わる。

★信楽蘭丸

恭志郎の弟で、鎌倉の老人の下にいるが、この2人が対立した時には兄である恭志郎の側についた。

★源十郎

元早乙女七郎の執事であり、サキの父母を襲った悲劇の真相や鉄仮面に隠された謎など、あらゆることを知っている人物。

★早乙女七郎

サキの父親であり、また高名なる考古学者。不老不死の秘宝を発見してしまった為、信楽老から命を狙われることになる。

★早乙女道子（五代道子）

早乙女七郎の妻であり、また同時に信楽老の養女でもあるサキの母親。サキの身を守るが故に、鉄仮面を被せた。

スケバン刑事 Part II
YOKO MINAMINO

対決！必殺ヨーヨー名場面集



それが宿命とはいえ、青狼会が次々と送りだす刺客たちは、決っして一筋縄ではいかない強敵ばかりであった。そうした激しい戦いの中で、麻宮サキが戦士としてどのように成長していったのか、その軌跡をたどってみよう。

まだ五代陽子がスケバン刑事こと麻宮サキとなって間もない頃に闘った最も手強い相手といえば、青狼会が戦斗マシーンとして作りあげたハヤト一号だろう。元々は高校レスリングのチャンピオンだっただけに、その怪力によって振りまわされるばかりであったサキは、一時は絶体絶命のピンチに陥ってしまうほどであった。が、しかしその時どこからともなく現われたお京のビー玉と雪乃の琴爪がハヤト1号をとらえ、あやうく危機を逃れたサキのヨーヨーがミゾオチにヒットし、一気に形勢は逆転した。そして最後のとどめは、3人同時のトリプル・キックで勝負をキメたのである。この闘いによりサキ、お京、雪乃は志を同じくする者同士の、より強い結び付きを得たのであった。

お京をワナにはめ、雪乃をさらいその眼を傷つけた恐車七人衆も恐ろしい敵だった。雪乃を救出するために独り立ち向かったサキではあるが、恐車水攻め、恐車車攻め、恐車十字攻めと次々とくり出される変幻自在のワザにたじろぎながらも、鮮やかなヨーヨーさばきでなんとかこれをしのぎ、七人衆のリーダーである井上貴子を一



人残すまでに追いつめた。がその瞬間、井上貴子は錦の陣羽織に袴を身につけ、獅子のかぶりをつけた恐ろしい姿に変身し、まるでこの世の物とは思えないような奇妙な笑い声をたてながら、長い毛の先を刃物の代わりにしサキを攻めたてるのであった。後ずさりしているうちに沼に足をとられてしまったサキは、獅子の長い毛先に身を切られそうになるが、木の枝にヨーヨーを巻きつけジャンプするという奇策を用いて間一髪でこの攻撃を逃がれ、相手の一瞬のスキをつきその勢いで鉄仮面のまま頭突きをくらわすというワザで敵を倒したのである。

サキが唯一かなわなかった相手といえば、冷血で凄腕の殺し屋、デューク南郷である。覚えたばかりのヨーヨー二刀流で激しく攻めたてるサキであったが、デューク南郷は鮮やかなスティックさばきでこれをかわし、逆にそのステッキの先から発射された分銅によって倒されてしまうのである。西脇の助けによって事なきをえたが、この闘いによってサキは〝強いという事と勝負に勝つという事は、全く別の問題である〟ということを悟るのであった。

拳法の達人である十徳をリーダーとする僧侶集団、黒羽五人衆は、サキ達をワナにはめ秘孔を突くことによって、その腕や首を利かなくさせるという恐ろしいワザを持つ敵だった。その激しい闘いの最中、木の枝が偶然にも裏秘孔を突いたため腕が自由になったサキは、十徳の攻撃をヨーヨーでガシッと受けとめ、拳を痛め思わずうずくまってしまった十徳のもとからパッと身をひるがえし、ふり向きざまに投げつけたヨーヨーによって、相手の身体をぐるぐる巻きにし勝ったのである。しかし偶然とはいえ、もし木の枝がサキの裏秘孔を突かなかったとしたら、きっと彼女は敗れていたであろう。

様々な敵と戦うことによって、サキは戦士として強くなっていった。それは良いことなのか悪いことなのかはわからないが、とりあえずサキには強くなる他に道はなかったのである。それが麻宮サキの悲しい宿命なのだから……。

決定！謎の鉄仮面

〈第１回コンテ〉





●謎の鉄仮面のデザインは、上図の右から左へ向けて決定されていった。ご覧のように、最初は洋画の鉄仮面をヒントにして考えられたことがよくわかる。

撮影に使われた実際の鉄仮面は、全部で3つあるそうだ。

ひとつは陽子ちゃん自身がかぶっているもの。もうひとつは回想シーンで使われている、子役（片桐尚美）がかぶっているもの。そして、もうひとつはアクションシーンでスタントマンがかぶっているものである。

陽子ちゃんのやつは、彼女のサイズに合わせて作られているので、誰にでもかぶれるわけではない。

鉄仮面の色は地が黒鉄色のような色で、緑と茶で部分的に汚しがかけてある。全体に打たれている鋲は真鍮製。本体と同じ黒鉄色で塗られている。

鉄仮面の仕上げは荒っぽいタッチだが、目の部分と耳だけはツヤツヤになるまで磨きあげられ、クロームの黒鉄色で塗装さ

〈第２回コンテ〉



〈決定〉



れている。

鉄仮面がパカッとふたつに割れるシーンは、両脇にピアノ線をつけて、パッと引っぱり、後方から送風機（扇風機の巨大なやつ）でブワッと風を送ることによって作られているが、通常はマジックテープで中央の接続部分がくっつけられている。アクションの激しい場面ではビスで止めるようにする。

内側は、ところどころにウレタンフォームを黒い布でくるんだパットがつけられている。かぶるときは、髪をアップにして、剣道の面をつけるときの要領で頭に手ぬぐいを巻くのである。

ちなみに、この鉄仮面の写真を逆さまにして、口の部分を頭だと思って見てみると、愛敬のあるオカシイ表情になる。なんとなく、ハニワっぽい感じがしませんか？

スケバン刑事 Part II
YOKO MINAMINO



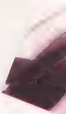


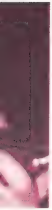
SPECIAL PHOTO MIX

















SPECIAL PHOTO MIX







スケバン刑事PartII
YOKO MINAMINO

スケバン刑事II鉄仮面伝説名言集

麻宮サキ、かく語りき

「風が…生まれて初めて、頬に風があたる…!!」
——鉄仮面が外れて最初に口をついた言葉。ひたすらに感動的である。

「愛とは、愛する意志のこと」
——不条理な人生を送った少女時代に、母親が海を見ながら教えてくれた大切なこと。

「鉄仮面に顔を奪われ十と七とせ、生まれの証しもたたぬこのあてが、何の因果がマッポの手先……二代目スケバン刑事、麻宮サキ!!おんしら、許さんぜよっ!」
——いわゆるキメ文句であるが、長すぎるせいか後ではほとんど使われなかった。

「梁山高校2年B組麻宮サキ、又の名をスケバン刑事!!」
——前のキメ言葉の短縮形。進級してからはちゃんと3年B組と名のっている。

「うちゃ……おまんが好きぜよ」
——たったこの一言で2人は全てを理解しあい、そしてマブダチになったのである。

「顔のない子は誰からも友達として受け入れてもらえず、……たったひとりぼっちでツッパルしかなくて…」
——小学生時代を回想して。集団心理の恐怖を如実に突いた、涙なくしては観られないシーンだった。

「うちは孤独を埋め合わせるために、何かを求めてあがいた。……だが、母はうちの素性について、一言ももらさずに死んでいった。」
——スケバン連合のリーダーだった頃を回想して。この時、サキは思春期も盛りの15歳であった。

「今、おまんにできることはひとつしかないき。おまんが強くなることじゃき、……媚びず、恨まず、甘えず…己れを信じ、真っ直ぐに…」
——教会の養護施設に収容されている、いじめられっ子の少年に向って。

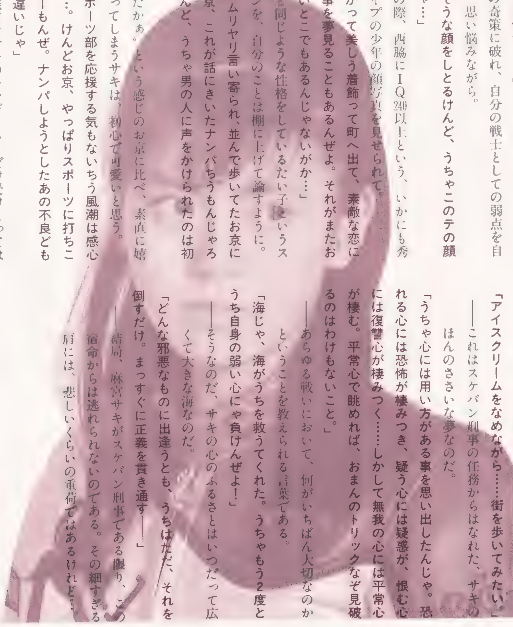
「本当は気の小さい心の優しい男なのに……そんな男に身のほど知らずな夢を見させ、目の前の愛を忘れさせるこの時代、……なんちゃ知らん•今日のうちは腹が立ってならんぜっ」
——お金の魔力にとりつかれ犠牲になってしまった青年を、哀れ悲しみながら…。深い言葉だ。

「東京の若い人っちゃ、ヒマ人ばかりぜよ。もっと勉強したり、武道にはげまんといかんぜよ」
——初めて原宿の竹下通りへ行き、そこでブラブラしているたくさんの若者を見て。サキのまじめさがよく表われている発言である。

「うん、東京の味がするぜよ」
——同じく、初めてクレープなるものを口にして。

「あては、盆踊りくらいしか踊ったことがないきにぃ…。」
——アフター・スキーのディスコ・パーティで踊りにさそわれて、少しテレながら。

「ええんよ、宏さん。おんしは優しすぎるんじゃ……。けんどな、人は騙せても自分の心は騙せんぜよ。」
——青狼会に脅迫され、サキをワナにはめようとした宏という青年に向って。



「うちもいっぺん、ブリッ子をやってみようかの…」

——事件の連続の中で、17才の女の子であるサキがみせた〝女の子に対する憧れ〟から、ふと口をついてしまった言葉だと思われる。残念ながらお京に「やめろよ、キモチわりぃ」の一言で片付けられてしまった。悲しい話である。

「どんなにヨーヨーさばきがうもうなっても、うちには無防備の相手は倒せん…。」

——西脇の奇策に破れ、自分の戦士としての弱点を自覚し、思い悩みながら。

「へえ、賢そうな顔をしとるけんど、うちゃこのテの顔は好かんちゃ…」

——指令の際、西脇にIQ240以上という、いかにも秀才タイプの少年の顔写真を見せられて。

「このうちかって美しう着飾って町へ出て、素敵な恋にめぐりあう事を夢見ることもあるんぜよ。それがまたおなごの可愛いとこでもあるんじゃないがか…」

——サキも同じような性格をしているたい子というスケバンを、自分のことは棚に上げて諭すように。

「(不良達にムリヤリ言い寄られ、並んで歩いてたお京に向って) お京、これが話にきいたナンパちうもんじゃろか。……けんど、うちゃ男の人に声をかけられたのは初めてぜよ。」

——〝またかぁ〟という感じのお京に比べ、素直に嬉しがってしまうサキは、初心で可愛いと思う。

「母校のスポーツ部を応援する気もないちう風潮は感心せんなぁ……。けんどお京、やっぱりスポーツに打ちこむ学生はえーもんぜ。ナンパしようとしたあの不良どもとはエラい違いじゃ」

——この発言をサキのキマジメさとだけ受けとってはいけない。なぜならサキは鉄仮面だ、青狼会だと忙しくて、いわゆるフツーの学生生活を送りたくても送れない、という悲しみを背負っているのだから。

「(道端の子猫を抱き上げながら)生まれて初めてのデートぞね。どがいな顔しちょけばええんじゃろ。おまん、教えちゃり…。」

——つまり、これは独り言である。いいなぁ。

「アイスクリームをなめながら……街を歩いてみたい。」

——これはスケバン刑事の任務からはなれた、サキのほんのささいな夢なのだ。

「うちゃ心には用い方がある事を思い出したんじゃ。恐れる心には恐怖が棲みつき、疑う心には疑惑が、恨む心には復讐心が棲みつく……しかして無我の心には平常心が棲む。平常心で眺めれば、おまんのトリックなぞ見破るのはわけもないこと。」

——あらゆる戦いにおいて、何がいちばん大切なのかということを教えられる言葉である。

「海じゃ、海がうちを救うてくれた。うちゃもう2度とうち自身の弱い心にゃ負けんぜよ!」

——そうなのだ、サキの心のふるさとはいつだって広くて大きな海なのだ。

「どんな邪悪なものに出逢うとも、うちはただ、それを倒すだけ。まっすぐに正義を貫き通す——」

——結局、麻宮サキがスケバン刑事である限り、この宿命からは逃れられないのである。その細すぎる肩には、悲しいくらいの重荷ではあるけれど…。

スケバン刑事 Part II
YOKO MINAMINO

〈サキ、お京、雪乃〉100%交際法

サキ、お京、雪乃という3人の女の子は、戦士としてはかなりおっかなかったりするが、フツーの女子高校生としてみたらめちゃくちゃ可愛くて魅力的な女の子達だと思う。ああいったタイプの女の子とは、それぞれどうやって接近すればよいのかというのを、"青狼会"やら"鉄仮面のナゾ"やらめんどくさいことはぬきにして、いろんなエピソードからキャラクターを分析し、その対処法というものを考えてみようと思うのだ。

〈麻宮サキ編〉

a　とにかくマジメ一本槍で、筋のとおってないことや曲がったことが大嫌いな女の子である。

b　異常なほどに責任感が強く、へたをするとムリなことまで全部一人でしょいこもうとしてしまう。

c　頑固で強情なのだが、本人はあまりそのことを自覚していないようである。

d　土佐で育ったせいか気性が激しいのだが、その反面心の中ではどこか"女の子らしさ"に憧れてたりする。

e　恋愛の経験は皆無に等しく、ナンパの意味すらよく知らず、デートにしたってお京がお膳だてしてくれたコウジとテツとした一度きりである。

♥といったデータを抽出してみたのだが、はっきりいってこのテの女の子とお近づきになるのは難しい。まず自分の世界をかたくなに守っているので簡単に心を開いてくれそうにないし、サキ自身は世俗にうとく遊び方をよく知らないので、ディスコでパァっと盛り上がったりするなんてこともあまり好きではないようである。だからあえて彼女の好みのタイプを考えるならば、原宿あたりでブラついてる男の子を軽べつし、一所懸命にスポーツに打ちこんでる男の子なんかには好感を持ったりしているところから、とにかくサキと同程度かもしくはそれ以上にマジメじゃなくちゃダメだということはいうまでもない。どのくらいマジメであればサキと対等になれるかといったら、やっぱり正義に目覚め悪の組織に立ち向かうくらいの超マジメさがないとダメなんだろうな、きっと。なかなか難儀なことではある。

〈中村京子編〉

a　幼い頃、両親に捨てられて淋しく育ったせいか、家族とかそういったものに関しては、思わずムキになってしまうくらい真剣に考えている。

b　いわゆる"お金持ち"といった人種に対しては、かなりシニカルな反感を持っている。

c　ケンカっ早いが、情にモロい単純なところがある。

d　はっきりいって、あらゆる面においてプライドが高く、妥協することが嫌いである。

e　恋愛経験に関しては3人の中ではいちばん豊富で、サキの初デートの時はあれこれとコーチをしてあげたりしていた。

f　サキとは反対に、スポ根とかガリ勉といったダサいことが嫌いである。

♥アネゴ肌のお京は、男女の別なく慕われているのだが、



それだけに〝特別な関係〟になるのはなかなか難しい。それに彼女は生粋の東京っ娘であるだけに、さり気なくオシャレな人が好きなはずで、お金にモノをいわせたブランド指向の男なんていうのはハナから相手にしないので、そこらへんは気をつけたい（だいたい彼女はお金持ちのイヤらしさが、何よりも嫌いなのだ）。またお京は人一倍母性本能が強いところがあるので、甘えるというのではなく自分の弱さを正直にさらけ出してしまうのも有効なテだと思う。あとは男の純情と温かさを持って、正面からぶつかるしかないのではないだろうか。が、彼女は意外とテレ屋だったりするので、どんな時でも〝さり気なさ〟を忘れてはいけない。健闘を祈る。

〈矢島雪乃〉

a　とにかくお嬢さま育ちであることには間違いない。

b　わりとポーっとしたところもあるが、スケバン育ちの他の2人と違って、かなり思慮深いところがある。

c　だいたいにおいて甘ったれであるが、肝心なところはちゃんとシンが通っている。

d　庶民的なことに関してはほとんど無知であるが、サキやお京の自分にはないそういった部分に魅かれている。

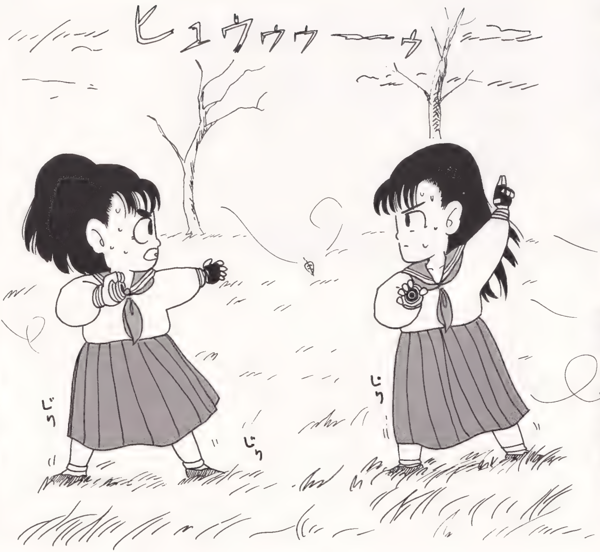
e　サキと知り合うまでは、〝自分さえよければ…〟といったお金持ち特有の考え方をする人間だった。

♥雪乃の場合は簡単である。お金持ちでなおかつ品位があり、彼女を甘えさせてあげる心の広さがあればよいのだ。そのうえチェスの心得があれば、もう何も言うことはない。が、そこまでわかっていても以上の条件を満たす男というのは、この世の中にはそういるもんじゃないのである。特に〝お金持ちで〟というのが難関で、もしそうじゃない人間が雪乃に惚れてしまった場合はどうすればよいのか。もうこれは、まるっきり逆からアプローチするしかない。彼女が観たこともないようなB級アクション映画に連れていき、そして彼女が口にしたことのないようなたこ焼きやお好み焼きなんかを食べさせてあげたりして、彼女の知らなかった俗っぽい楽しみをいろいろと教えてあげたりすれば、ひょっとしたら何とかなるかもしれない。それでダメだったら諦めた方が賢明だろう。

スケバン刑事II YOKO MINAMINO

「スケバン刑事」VS「スケバン刑事II」

スケバン、もし闘わば!?



だいたい、こういった前提のたて方というのは、マトモに考えてみれば絶対にムチャなのである。なぜなら初代スケバン刑事がああした運命になってしまったからこそ二代目スケバン刑事が誕生したのだし、もし初代がそ

のまま存続していたなら、それこそ二代目の存在理由というものは何処にもなくなってしまうではないか―という至極もっともな意見は、この際だからあえて無視したいと思う。だってものすごく強い女の子が2人存在するとしたら〝ホントは、どっちの方が強いんだろうか〟というのは知りたくなるのが、人間の欲望というものではないか。私は欲望に対して従順でありたいのだ。とはいうものの、やっぱりどう考えても正義の味方同士が戦うということは難しかったりするので、ここではそれぞれの戦いぶりからいくつかの要素を取り出して、その戦斗能力の大きさについて推測してみたい。

まずは戦斗以前の最も重要なポイントである気合の入れ方を、ここでは〝メンチの切り方〟で計ってみたいと思う。二代目の陽子ちゃんの土佐弁と鉄仮面もなかなか強力ではあるが、あの由貴ちゃんの水戸黄門的にパターン化されたセリフの確信の深さと比べると、少しばかり弱いように感じる。それに視線の迫力という問題に関しても、つぶらな瞳をしている二代目より、キリリとした瞳で相手をみすえる初代サキの方が、敵に与える圧迫感を考えると上のように思われるのだ。

次にパワーという点についてだが、これは初代の方が強力だろうと推測される。初代のヨーヨーというのは、ウルトラマンのスペシウム光線的な意味を持つもので、相手にヒットすればそのほとんどが倒されてしまうという、いわば最終兵器的なものだからである。その点、何度もヒットさせ様々な手続きをふんで敵を倒す二代目の破壊力は少しばかり弱いだろう。しかし二代目にとって、有利な点が全くないわけではない。それは陽子ちゃんの方がリーチが長いということである。これはすなわち遠心力の大きさに比例するわけで、もしキレイなフォームで投げた場合、かなりの破壊力を得ることが可能はなずで、いくばくかのパワー不足は充分に補えるはずだ。

戦斗において、パワーとともに重要な問題となってくるのはスピードである。いくらパワーに満ちた攻撃を試みても、確実に相手にヒットしなければ何の意味もなさないからだ。この点に関しては、初代よりも二代目の方が数段優れているように思われる。何故ならば、幼少の頃から鉄仮面を被せられ続けられてきた二代目は、それだけ余計に常人よりも様々な感覚が発達しているはずだからである。戦斗においてフットワークというのは、非常に大切なことだ。このことはパートIとパートIIにおける、それぞれの戦いに如実に表われている。

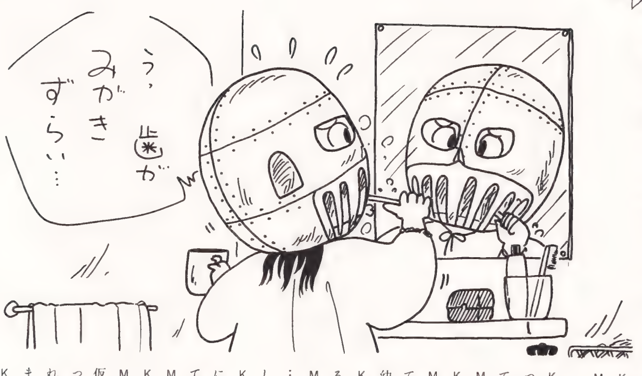
最後にワザの多彩さについてであるが、この点でも二代目の方が背面投げをみせたり、同時に2個のヨーヨーを操ったりと数多くのワザを持っているようである。またヨーヨー以外においても、初代よりは二代目の方が戦斗理論に関して優れていることが、数々のエピソードをみるとわかる。それは初代よりも二代目の方が〝青狼会〟というより強力な戦斗のエキスパートを敵にした結果の必然からかもしれないが、戦いにおいて最終的にモノをいうのは経験の差であるということを考えると、かなり重要なポイントになってくるのは否定できないことのように思われるのだが。

とまあ、いろいろな角度から検討してみたのだが、結論としては短時間の一発勝負ならば斉藤由貴の初代スケバン刑事が、持久戦になれば南野陽子の二代目スケバン刑事が勝利を手にするのではないだろうか。でも、こればかりは実際に戦ってみなきゃわからないな。

スケバン刑事II
YOKO MINAMINO

麻宮サキ、その過去と未来

TALK ABOUT THE SAKI



K・明日のレコ大審査員を夢みる音楽評論家
M・ちょっとアブナイ、NANNO支持者

K　さまざまな謎を持つ「スケバン刑事II」だけど、やっぱり何といっても、あの鉄仮面をつけてた幼少時代ってのが気になるね。

M　まぁ、いろんな意味でね。

K　あの鉄仮面はハズせなかったのかなあ。

M　あれは電子ロックがかかってたからね、ハズしたくても自分の意志じゃどうにもならなかったんだ。悲しい幼少時代を送ってたんだよ、サキちゃんは…。

K　そうか、大変だったんだなあ。それじゃあ風呂に入るときも鉄仮面をつけたままだったんだ。

M　そういう脳天気な問題じゃないと思うんだけどなあ…けど、それで十何年間も髪を洗ったりしてなかったとしたら恐いな、なんかレゲエのおじさんみたいで。

K　うむ、ラスタ・ヘアーの麻宮サキかあ。想像するだにスゴイものがある。それに、歯だってどうやって磨いてたのか疑問だしなあ。

M　健康そうな白い歯をしてるよ、サキは。

K　だいたい、食事はどうしてたんだ、いったい。

M　……そんなこと、俺に聞かれたって困るよ。だけど仮にも17年間なんとか生きてきて、あんなにキレイに育ったんだから、そんなの、どーでもいいじゃないか。それより大切なのはサキの心の葛藤っていうか、まぁ、つまりそーいうことなんだよ、うん。

K　そうだな、友だちもいなかったみたいだしね。

M　幼かった頃、みんなの仲間に入れなくて、遠くの方でそれをうらやましそうに見ているサキの、鉄仮面の奥の淋しそうな目のことを思うと俺はなあ……、悲しいよな。

K　……おい、泣いてるのか。

M　へん、べつに泣いてなんかないやいっ。

K　しょうがないやつだ。まあ、そういう暗い幼少時代をすごしたサキは、果たしてこれからどうなっていくんだろうねえ。

M　そりゃ、幸福な人生を送るに決まってるじゃないか。

K　うーん、麻宮サキにとっての幸福な人生ってのはどういうものなんだ？

M　だからさ、いっぱい恋をして、それからステキな人とめぐりあったりして、あったかい家庭なんかをもっちゃったりして……なんかサキのイメージと合わないな、こーいうの。

K　そうだな、ダンナになる男も大変だろうしなあ。夫婦ゲンカになると、ヨーヨーがピシッとか飛んできて、全身アザだらけになっちゃうもんな。

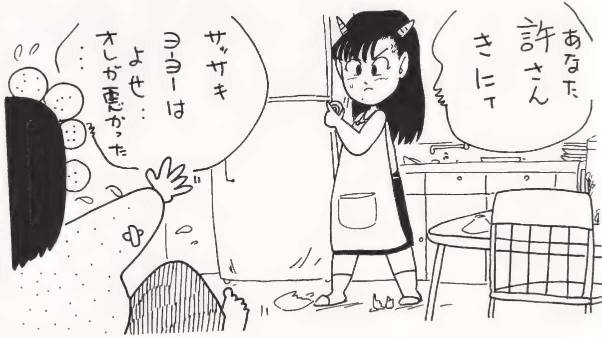
M　麻宮サキはいつだって正義なんだから、そりゃダンナの方が悪いに決ってるよ。でもさぁ、サキちゃんくらい美人の嫁さんだったら、ヨーヨーのひとつやふたつ、俺はよろこんで受けちゃうね、実際。

K　そりゃ楽しい家庭になりそうだなあ。

M　うんっ!!

K　……でも、これからは女性の自立というのも重要になってくるからな。サキにだって、やりたい仕事があるんじゃないかなあ。

M　だけどサキがやりたい仕事ってどんなんだろ、想像つく？



K　うーん……むずかしいねえ。

M　そうだなぁ、やっぱりアイドルなんかいいんじゃないかな。あんなにカワイイんだし、絶対人気が出ると思うぜ。

K　お、それいいんじゃない。

M　キマリだね、それしかないよ、うん。

スケバン刑事II
YOKO MINAMINO

YOKOのすべて

「南野陽子」白書



陽子ちゃんのシングル・レコードは、これまでに4枚がリリースされている。彼女のファンにとっては、そのタイトルをすべて即座に答えるなんてことはワケのないことでありますが、世の中には、「あれ？　陽子ちゃんって今年の新人じゃなかったの？」とカン違いをしている人もたまにいたりする。「スケバン刑事II」で麻宮サキを演じているのは知っていても、昨年の6月23日にデビュー曲「恥ずかしすぎて」（詞・康珍化／曲・都倉俊一／編・大村雅朗）が発売されたことをリアルタイムで知っている人は意外と少ないような気がする。

3曲目の「悲しみモニュメント」（詞・来生えつこ／曲・鈴木キサブロー／編・新川博）が、陽子ちゃんにとって初めてベスト・テン入りをしたとき、それと同時にデビュー曲と2曲目「さよならのめまい」（詞・来生えつこ／曲・来生たかお／編・萩田光雄）までもがチャートを急上昇してきたのは記憶に新しい。この現象など、彼女の

人気の高まりかたが、いかに急激であったかを物語っているようで興味深い。

陽子ちゃんのボーカルは、それほどクセがない。どちらかというと、スンナリと自分の声を出す歌いかたをしている。メリハリをつけた、いわゆる歌唱力を前面に押し出すタイプではなく、声の表情を微妙に変えていって、表現力でアピールするタイプの歌手である。レコードをよく聴いていると、実にカワイイ声質をしているのがわかり、麻宮サキのイメージとのギャップがとてもおもしろく感じられる。

曲調的には前3作の延長線上にあると思われる4曲目「風のマドリガル」(詞・湯川れい子／曲・井上大輔／編・萩田光雄)は、大瀧詠一の「さらばシベリア鉄道」をホーフツさせるけれど、とりあえず彼女のシングルの中では1等賞と言えるものだろう。

これまでのシングル曲は、「スケバン刑事II」のエンディング・テーマとして使われた関係もあるのか、一定のトーンを保っていた。そんな中で、一作ごとに表現力を向上させていった陽子ちゃん。「スケバン刑事II」を卒業し、歌手としても新たな展開が待っているけれど、どんなタイプの曲を与えられても見事にクリアしてくれることだろう。ますます期待の高まる女の子である。

アルバム「ジェラート」

表情豊かな陽子ちゃんの声が、バックの水彩画のような透明感のあるサウンドと微妙なバランスで溶け合ってとても美しいアルバムに仕上がっている。また、アイドルのファースト・アルバムというのは、だいたいにおいていろんなタイプの曲をつめ込んで挨拶状代わりな感じのものを作るものなのだが、このアルバムに収録されている曲は〝湿度感のない街の風景〟といった雰囲気で統一されていて、アルバム単位としても高い完成度を保っているのだ。そうした中でも特に圧巻なのが、神戸の街並を思い起こさせてくれるA－①の「春景色」と、男の子と女の子のちょっとしたいさかいをサラッと描いてみせた「映画色の雨」で、この2曲は淡々とした陽子ちゃんのヴォーカルがリアルに風景を感じさせてくれる。全体的にわりとおとなしめなんで少し物足りないと思う人もいるかもしれないけど、聴けば聴くほどその良さがわかってくるアルバムなのだ。

ビデオ「ときめき、ください」

陽子ちゃんのファースト・ビデオは、アルバム「ジェラート」からセレクトした数曲と彼女の楽しいおしゃべりを上手くシンクロさせた、なかなかスグレた作品だ。

楽曲をバックにした映像は、さすがに一流のスタッフ達の手によるものだけあって、彼女の魅力的な表情を様々な角度から美しくとらえている。が、正しいNANNO者(もの)(＝熱狂的な陽子ファンのこと)としては、ぜひともおしゃべりのシーンに注目してもらいたい。彼女が身のまわりのことや、芸能界に入ってからの心の動きについてなどを、観ている人に向って切々と語りかけてくれるものだから、ブラウン管と正対して観ている側としては、思わずその陽子ワールドに迷いこんでしまうのである。ふと気がついてみると、ブラウン管の中にいる陽子ちゃんにいちいちと応えてしまっていたりするので、決っして他の人と一緒に観たりしない方がよいと思う。じゃないと、アブナイ奴だとおもわれちゃうぜ、きっと。

スケバン刑事II
YOKO MINAMINO

陽子ちゃんに聞きました！



1 「スケバン刑事II」で一番苦労したのはどんなこと？

★アクションシーン。できないってこともあるけど、なんてったって恥ずかしくって（失敗したときとかかっこを考えると）そんな自分とたたかうこと（かっとーがよくあるのです！）

2 「スケバン刑事II」で一番楽しかったのは？

★スタッフの方と仲よくできたこと。家族みたい。

3 「スケバン刑事II」の撮映が終了したときは、どんなことを思いましたか？

★あげたらきりがない。いろんなシーン。みんなと別れるさみしさ。これからの不安。コンサートとかドラマとか…。

4 デビューから現在まで、自分の中で変化したことはありますか？

★おもいきりがよくなった。

5 23歳で結婚したいというのは、今でも同じですか？

★とりあえず…ずっとかわらないですが…ムリかもね。

6 腕立てふせはできるようになりましたか？

★いいえ。

7 何か、スポーツはやってますか？

★別に…。

8 〃お嬢さま〃のイメージを持たれることについて、どう思いますか？

★お嬢さまはきらいじゃないけど、私とはちがっていると思う。

9 芸能界で今一番仲のいい人は誰ですか？

★一番ってのはわからないなー。

10　テレビの歌番組には、もう慣れましたか？
★まだです。
11　先日のコンサートは、どうでしたか？
★たくさんの人がみにきてくれて、すごくうれしかった。歌とかおしゃべりで反省するところがいっぱいあるけれど、とにかく成功でよかった！みんな、ありがとう。コールとか手拍子、声援、すごくきこえたYO。
12　新曲「風のマドリガル」については、どう思いますか？
★風とか青をかんじるうた。私っぽくない様な気もするけど、サキのうたってかんじで、とても好き。Good♡
13　今後、どんな曲を歌っていきたいですか？
★Storyのある詩で曲はかわったもの（ジャンルは別に…）
14　最近見た映画で印象に残っているのは何ですか？
★最近ではないけれど、好きなのは、塩狩峠（泣きっぱなし）愛と青春の旅立ち（あこがれるー）風と共に去りぬ（私、あんな風の役したい！）ウエストサイドストーリー（踊りを学びたくなった）
15　好きな本はありますか？
★作家なら、三浦綾子さん、片岡義男さん、ジッド、向田邦子さん、渡辺淳一さん。
16　好きなマンガはありますか？
★あんまり読まないんですけれど、「アイドルを探せ！」「生徒諸君！」は、むかし好きで、全部そろえたなあ…。他は、くらもちふさこさん、槇村さとるさん。
17　好きなアニメはありますか？
★別に…。赤毛のアン（これは、本が好きで、集めるのが趣味になった）
18　今、好きなミュージシャンは誰ですか？



★サザン（クワタバンド）、大沢誉志幸、NOBODY♡、ハイファイセット。てきとーな洋楽ファン。
19　最近はどんなファッションが好きですか？（できればブランド名も）
★プライベート、I・S（イッセイスポーツ）、ニコル、ラ・ブレア。ステージ（TV）では、メルローズ。あこがれは、アルマーニとかフィレ・シャネル。（けど、さいきん、ブランドにこだわらないで、原宿あたりで安いのみつけるのが好き）
20　歌手と女優と、自分ではどちらが向いていると思いますか？
★どちらも向いていないと思うけど、女優になりたい！But、今は歌手してるときが好き。
21　お笑い関係で好きな人はいますか？
★さんまさん。たけしさんは尊敬します。西川のりおさん。
22　今後、女優としては、どんな役をやっていきたいですか？
★ふつーの役。
23　旅行するとしたら、どこへ行きたいですか？
★カナダ、プリンス・エドワード島（アンのふるさと）とか、国内をじっくり、ゆっくり。
24　今、どんな夢を持っていますか？
★みんなが、私のうたを、口づさんでくれること。そして、けっこん。

スケバン刑事II
YOKO
MINAMINO

NANNOが、好きだ。

南野陽子の美しさはカンペキだ、と思う。人の美意識なんてのは、それぞれわがままなものではあるけれど、好き嫌いといった生理的な問題を別にすれば、〝南野陽子は美しい〟という事実を認めない人はいないのではないだろうか。もしそんな奴がいるとしたら、それは単なるヘソまがりなだけであって、そういう素直じゃない人とは、僕は絶対に友達になりたくない。また彼女はその美しさとともに、充分過ぎるほどの気品を兼ねそなえているように思える。これは理由の為に言いわけをしながらアイドルをやっている人達や、臆面のなさを逆手にとっておいしい商売をしているアイドル(及びそのスタッフ)が主流になっているこのフィールドにおいて、彼女は明らかにそういった存在とは一線を画している、ということなのだ。たとえばアイドルと呼ばれている人達がメインとなっている歌番組に、何度か彼女が出演しているのは観たことがあるが、意味もなくやたらと大騒ぎしているTV番組の中でも、彼女は確実に異彩を放っているのだ。だからきっと南野陽子という人は、決して周囲に流されることなく、自分自身の空気というべきものを、いつでも大切にもちつづけていられる人なのだろう。

昨今のお嬢さまブームの中で、いわゆるお嬢さまっぽいアイドルの代表選手として、彼女がマスコミに取り上げられたことが何度かあった。正直いって〝バカヤロウ、何にもわかっちゃねーくせに〟と思ってしまった。結局そういうブームを支えていたのは、男どものくだらない幻想と、そしてほんの少しだけお金持ちになったと錯覚してしまった女の子達の願望に過ぎなかったわけで、南野陽子は最初っからそういったものとは無縁の存在だったのだ。つまり、どんなにフツーの女の子が一所懸命に〝お嬢さま〟のイメージをなぞろうと頑張ってみても、そういったイメージに全くとらわれていない彼女の自然な言動にはかなわないわけで、それはムダな努力に終わるだけである。もしそういった女の子達が南野陽子という存在と対等になるとしたら、それはブームで自分を見失っている時ではなく、ちゃんと自分自身というものがわかった時だろう。

さて、それでは最高の女の子＝南野陽子に男の子はどう対処すればよいのだろうか。答えはひとつ、単純明快、それは最高の男の子になることである。彼女は頭の回転が早そうな娘なので、たぶん自分の生き方に対してもそれなりの自信を持っているだろうし、当然相手になる男にもそれ以上の何かを求めるようなタイプなんだと思う。だから南野陽子のことが好きな男の子というのは、自分を輝かせるためにあらゆる努力をし、そして成長をしなければならない。NANNOのファンであることは、それだけでなかなか大変なことなのだ。

南野陽子の最も偉大なところは、僕等にとても素敵な夢を見させてくれるところであり、また彼女が微笑むだけで、きっと何人もの男の子がとても幸福な気持になれるということなのである。

よい子のスケバン・グッズ



★ヨーヨー

これは3種類ある。ひとつは実際にヨーヨーとして使えるもの。競技用ヨーヨーを銀色に着色し、両サイドに赤色2ミリ厚のアクリル板を削り出した円形プレートを両面テープで貼り付けたものだ。ふたつ目は、相手にからみつくヨーヨー。こちらはヨーヨーとしての機能はなく、糸をハズしてチェーンが取りつけられている。そしてみっつ目は、アップ用のヨーヨー。化粧品の金属製コンパクトをふたつ貼り合わせたものだ。開くのは片側だけで、もう一方は固定されている。これに樹脂製の警視庁マークが内臓されているのである。

★ビー玉

これはどこにでも売っている普通のビー玉。色は原則的に赤・黄・青（または緑）が使われるが、これといったキマリはない。投げつけるシーンでは、小さいと映らないし、人にあたると危険なので、小さいスーパーボールが使われているそうである。

★袱紗

雪乃の投げる小さい座ぶとんのようなもの。(茶道をやったことがある人なら、どういうものか御存知だろう) これは赤い布を縫い合わせただけのものだが、投げられるように中に円形に切ったベニヤ板が入っている。中央のマークは日本酒の〝剣菱〟のもので、表だけについている。

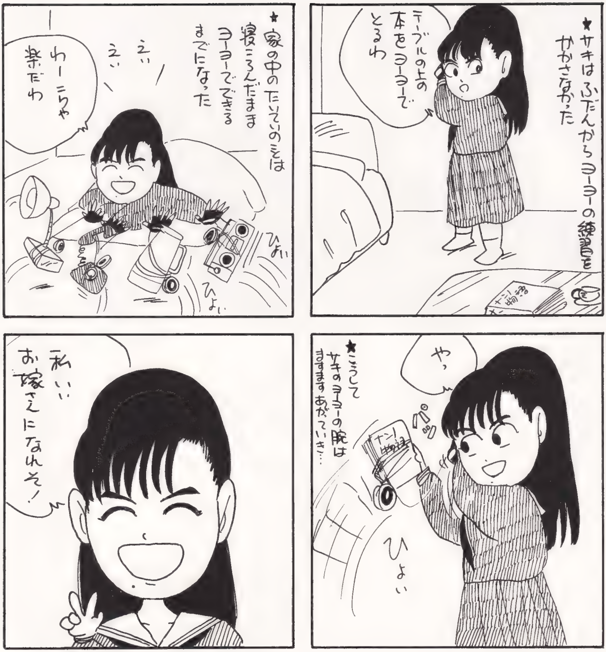
スケバン刑事 YOKO MINAMINO

描きおろしコミック

あしたのサキちゃん

by中西 裕




★サキはふだんからヨーヨーの練習をかかさなかった
テーブルの上の本をヨーヨーでとるわ
★こうしてサキのヨーヨーの腕はますますあがっていき…
やっ
パシッ
ひょい
★家の中のたいていのことは寝ころんだままヨーヨーでできるまでになった
えい
えい
わーこりゃ楽だわ
ひょい
ひょい
私いいお嫁さんになれそ!

スケバン刑事II
YOKO MINAMINO

それぞれの「スケバン刑事II」



TV番組のファン層というのは、スポーツ中継など一部のものを除いてかなり限定的なものになっているのが現状ではあるが、そうした中で「スケバン刑事II」という番組はどれだけ広くの層に受け入れられる可能性があったのか、ということをここで再確認したいと思う。

〈4〜5才の幼稚園児に〉

まず〝正義とは何か〟について可不足なく的確に、しかも決っしてムリヤリにではなく自然に教えてくれる秀れた情操番組であった。だいたい情操教育などというのは子供の自主性にまかせるのがいちばん良いのであって、ムリヤリにしたりすれば子供がヒネてしまうだけなのである。ちなみにストーリーがかなり複雑であったりするので、話のスジがわかんなくなってしまった子供は、すぐにヨーヨーやビー玉を他の子達にぶつけて楽しむという、とんでもない方向へ行っていってしまうこともあるので、その点を親は充分に注意を払ってもらいたい。

〈中学、高校生の女の子に〉

これは特に制服がセーラー服である女の子に向けてなんだけど、何も特別なとこのないフツーのセーラー服を、サキ、お京、雪乃の3人がキリリとキメているあの着こなし方を、街を歩いている女の子達にはぜひとも参考にしてもらいたいと思ってるのだ。そのせいではないのだろうけど、偶然にもメイン・キャストの3人はそれぞれおも長、逆三角、丸顔と典型的な顔の形をしているではないか。これを見逃すテはないよ。エリの幅やスカートの丈、それに全体のバランスなどは、絶対にスタイリストが付いてるはずだし、ちょっと工夫すればみんなフツーの制服だって、もっとおしゃれにキマるだろうと思うんだけどなぁ…。



〈欲求不満気味の新入社員に〉

これはあくまでも僕の友人の話なのだが、初めてのボーナスが出た時に、「スケバン刑事II」を録るため何よりも先にビデオを買ったそうである。そうなのだ、彼は学生時代からずっと、南野陽子ちゃんの大ファンだったのだ。それで最初のうちはおとなしくドラマとして楽しんでいたらしいのだが、そのうち陽子ちゃんを中心にブラウン管を観るようになり、最後にはやれ〝陽子ちゃんの怒った顔はセクシーだ〟とか〝闘ってる時の陽子ちゃんの表情はスローで観るとイロっぽい〟とか、そんなことしか言わなくなってしまった。それもかなり不気味ではあるが、別に他人に迷惑をかけるわけじゃないし、それによってウップン晴らしができるのなら文句はないけど、やっぱり積極的にすすめられるような見方じゃないな。そんなのはスポーツで発散すればよいのだから!?

〈近頃のおなごは…とお嘆きのおじいちゃんに〉

最近のおなごは、チャラチャラしおって、いったい何を考えてるのかさっぱりわからん〟とブツクサいっているおじいちゃんにも、ぜひとも「スケバン刑事II」を観て安心してもらいたい。なぜならこのドラマの中では義理人情に厚く身持ちのカタいという、特別天然記念物なみに珍しい女の子達が主役だからである。最初はお京のいわゆる表面上の現代っ娘ぽさに戸惑ってしまうかもしれないが、その実は彼女がいちばん情にモロくケンカっ早いという、昔ながらの愛すべきキャラクターだということがすぐにわかるはずだ。またこのドラマは年配の方には絶大な人気を持つ「水戸黄門」と似ている点がたくさんあるので（たとえば、キメの時に出す代紋のついた印ろうとヨーヨーとか、どちらも主役が2人の助けをえて活躍するとか）、現代劇といえどもその世界に入っていくことは、そんなに難しいことではないと思う。

とまあ、いろいろなタイプについて考えてみたのだけど、正しい見方というのはそれぞれの勝手だし、心から「スケバン刑事II」を楽しんでいるのなら、それがいちばん大切なことなのではないだろうか。

製作スタッフ紹介
「スケバン刑事II」を終えて…。

企画★岡　正(フジテレビ)
植田泰治(東映)
原作★和田慎二(白泉社・花とゆめコミックス)
音楽★新田一郎
脚本★土屋斗紀雄
橋本以蔵
杉村のぼる
戸田博史
山中伊知郎



岡　正

撮影★奥村正祐
池田健策
林　迪雄
大町進
照明★関口弥太郎
大森康次
大須賀国男
増川弘邦
稲葉好治
美術★安井丸男
録音★熊谷良兵衛
助監督★武田秀雄
編集★只野信也
記録★佐々木禮子
山下千観

「鉄仮面をぬいだ時、女優、南野陽子の闘いも始まった。そして彼女は見事に闘いぬいた。」



土屋　斗紀雄



前田和也

選曲★秋本彰
整音★東映仕上センター
音響効果★原田千昭
装置★脇田紀三郎
装飾★装美社
衣裳★東京衣裳
美粧★サンメイク
アクションクリエーター★岡田勝
スチール★文化工房
現像★東映化工

「限りない可能性を、マイペースでしっかりとつかんで欲しい。」



橋本以蔵

進行主任★藤沢克則
製作担当★鈴木勝政
小貫繁子
プロデューサー★前田和也(フジテレビ)
中曽根千治(東映)
手塚治(東映)
監督★田中秀夫
大井利夫
前島守男
制作★フジテレビ
東映

「人間的には芯が強くてガッツがある。大きく、かつ軽やかで清潔さの漂う新タイプの女優を目指してもらいたい。」



中曽根千治

SCENE 3

スケバン刑事II
YOKO
MINAMINO

陽子、キラキラ。




TESS



蟹座の女のコは、とっても
ナイーブでロマンチストなんだって……。













SCENE 4

スケバン刑事II YOKO MINAMINO

陽子、イキイキ。

19歳になりました
今日からもっとりりしいサキを見せます。





誕生日をむかえて
ひとつ大人になったら
私をつつむ空気も
なんだか少し……
熱いみたい。



陽子のハッピーバースディ









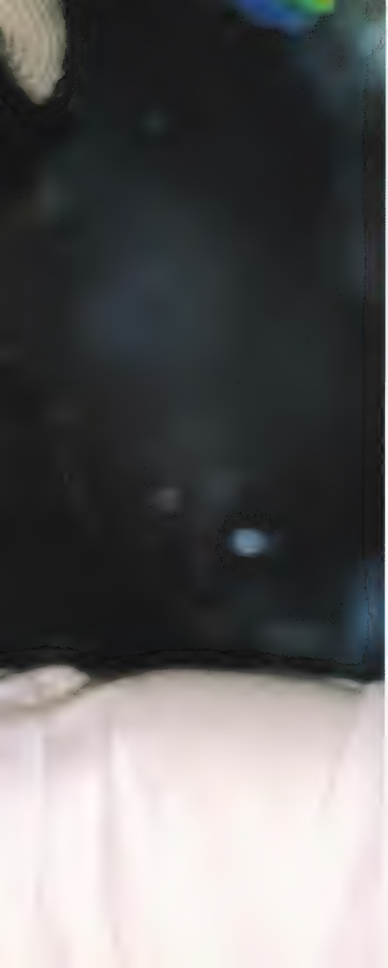







ありがとう。今日から新しいわたし。














私のサキを忘れないでね。



楽しかったこと
悲しかったこと
みんな両手に抱きしめて
陽子は今日から
また　歩き始めます。





想い出の"スケバン刑事"





さようなら"麻宮サキ"





スケバン刑事Ⅱ
YOKO
MINAMINO







SPECIAL THANKS

岡　　正(フジテレビ)　中曽根千治(東映)　石井美保子(青年座)







南野陽子スケバン刑事Ⅱ写真集

MÉMOIRE

©1986 和田慎二／白泉社・フジテレビジョン・東映

昭和61年 9 月24日　初版発行
昭和61年10月15日　第 2 刷発行

発　行　人　小長井信昌
発　行　所　白泉社
〒101 東京都千代田区西神田3-6-4
電話 編集直通03(265)1997・販売直通03(265)1919
撮　　　影　大松　龍
ブックデザイン　大向　務
印 刷・製 本　大日本印刷株式会社
乱丁、落丁本はおとりかえいたします。定価はカバーに表示してあります。
Printed in Japan　雑誌67501-01　白泉社ＥＸ



■スケバン刑事IIはあらゆるドラマ的興奮を盛り込んだ、実に画期的な作品だと自画自賛しています。この作品の中には、西洋の古典的冒険活劇の要素、サイレント時代の連続冒険活劇のコンセプト、時代劇、最新のアメリカヒーロー映画の要素、現代日本の学園ドラマ、そして名画のパロディ等々、考えつく限りの設定を盛り込んだつもりです。

そして何よりも言わなければならないのは、これは大いなる愛の物語であるということです。今後、これだけの面白いドラマが作れるかどうかわからないぐらいです。

陽子ちゃんをはじめとして、ハル子、秋絵と三人のスターを生み出せたことも大きな収穫です。

今後ともテレビ版「スケバン刑事」をよろしくお願いします。

フジテレビ　チーフプロデューサー　岡　正



雑誌 67501—01　定価1200円

白泉社